

第16回 大阪府河川周辺地域の環境保全等審議会 議事要旨

開催日時	令和3年3月22日（月） 13:30～15:30
開催場所	WEB会議（Cisco Webex Meetings）
出席者	池委員、上田委員、上原委員、岡田委員、竹林委員、布野委員、森下委員、 ○養父委員、渡部委員 計9名（欠席：和田委員） （○：会長、敬称略、五十音順）
概要	<p>要： 第11回環境改善放流検討部会で審議した結果（「環境改善放流計画（土砂還元計画）」）について報告した。</p> <p>また、前回審議会及び第11回環境改善放流検討部会での審議を踏まえ修正した「試験湛水・ダム供用後における環境調査計画」の中間報告を行い、「令和2年度調査報告と取組み」及び「工事期間中の環境保全方策の評価結果（令和2年度）」について報告を行った。</p> <p>【資料1】環境保全等審議会スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none">資料1についての委員の主な発言は以下のとおり。 特になし <p>【資料2】環境改善放流計画について</p> <ul style="list-style-type: none">資料2についての委員の主な発言は以下のとおり。 竹林委員<ul style="list-style-type: none">土砂還元計画の置き土量については、置き土場所の制約や施工性、経済性により決まってくるが、本来は下流域の動植物の生息場が守られるかどうかという視点で検討すべきもの。誤解を与えないよう表現の工夫をすべき。 布野委員<ul style="list-style-type: none">春季のフラッシュ放流量は注目すべき鳥類に配慮がされているが、そのために半年以上大きな流量のフラッシュ放流がなされないことになり、植生の繁茂につながらないか。可能であれば、モニタリングしながら影響がないと判断された時点でフラッシュ放流を実施することとしてはどうか。 養父会長<ul style="list-style-type: none">植物が繁茂することにより礫河原で繁殖する鳥類の繁殖場所も失われてしまう。フラッシュ放流の当初計画（案）を概ね審議会として了承する。 <p>【資料3】試験湛水・ダム供用後における環境調査計画について</p> <ul style="list-style-type: none">資料3についての委員の主な発言は以下のとおり。 竹林委員<ul style="list-style-type: none">試験湛水による影響確認調査のうちダム下流河川の生物調査の水位・流量の評価基準に、生物の生息の観点からの評価基準が必要ではないか。また、河床材料の評価基準は泥・シルトに限定しているが、環境改善放流効果把握調査計画のフラッシュ放流効果検証調査の河床材料の評価基準と同様に粒度組成の観点からの評価が必要ではないか。

開催日時	令和3年3月22日(月) 13:30~15:30
開催場所	WEB会議 (Cisco Webex Meetings)
出席者	池委員、上田委員、上原委員、岡田委員、竹林委員、布野委員、森下委員、 ○養父委員、渡部委員 計9名(欠席:和田委員) (○:会長、敬称略、五十音順)
<p>池委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質調査計画の全亜鉛、ノニルフェノール、LASについて、第11回放流部会での意見を踏まえ、調査頻度を2回としているが、現況の濃度は確認したのか。 <p>渡部委員</p> <p>上田委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前説明時に提案した水生生物の調査を追加いただいたが、調査では種数だけでなく、個体数も把握してほしい。 <p>竹林委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダム供用後の貯水池周辺の生態確認調査の生物の生育・生息基盤調査のダム下流の河川環境調査では、地形測量も必要ではないか。 <p>上原委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験湛水による影響確認調査のうちダム下流河川の生物調査の魚類調査はR4に実施しないこととなっているのはなぜか。試験湛水中に魚類相が変化する可能性があるため調査を実施したほうが良い。 <p>【資料4】令和2年度調査報告と取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料4についての委員の主な発言は以下のとおり。 <p>上田委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左岸ビオトープは濁水状況が続き、また種数は変化してなくとも個体数は減少していることから、今後は、水が亡くならないような管理をお願いしたい。 <p>【資料5】工事期間中の環境保全方策の評価結果について(令和2年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料5についての委員の主な発言は以下のとおり。 <p>森下委員</p> <p>【傍聴者からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声聞き取りづらい。 	